

重度障害者・生涯学習ネットワーク（所在地：神奈川県）

事業名 『重度医療的ケア者対象の訪問型生涯学習支援』に関する実践研究

主な連携先 神奈川県（教育委員会、子どもみらい局、神奈川県立特別支援学校）
大学（田園調布学園大学、明治学院大学、國學院大學）等

主な対象 重症心身障害者・医療的ケア者

事業の趣旨・目的

重症心身障害者・医療的ケア者対象の訪問型生涯学習支援「訪問カレッジ」を持続可能な制度にすることを目的に、「①訪問型生涯学習支援における効果的な学習プログラム、②運営・地域連携、③人材育成、④理解啓発」の4つの項目で実践研究を行う。

事業実施体制

- ・重度障害者・生涯学習ネットワーク：訪問型生涯学習支援に取り組む16団体（大学、NPO、一般社団法人等）で組織。
- ・連携協議会：神奈川県内の教育（教育委員会、特別支援学校、大学）、福祉（子どもみらい局、社会福祉法人）、企業、学生保護者等

学習プログラムの内容

1. 訪問型学習のプログラム

- ①学習の機会 週1回～月1回 1回2時間程度
- ②学習支援員は1名～2名 ③原則一対一個別対応
- ④プログラム展開 ⑤親御さんの授業参加。
- ⑥入所施設の場合は、施設側の了解と理解が必要

2. 訪問型学習のプログラムの類型化の試み

- 【自然科学分野】 【人文科学分野】 【社会科学分野】
- 【家政学分野】 【文化・芸術】 【リハビリテーション分野】
- 【保健体育】 【校外学習】

今年度の取組状況

- 【研究内容】 実践研究を以下の4つの観点で行った。
- ①訪問型生涯学習支援における効果的な学習プログラム
 - ②運営・地域連携：持続可能な事業に向けた実践研究。
 - ③人材育成：大学との連携による大学生等の授業参加。
 - ④理解啓発：地域資源の活用やフォーラムを開催。

- 【取組の成果】 取組を通じて以下の2点が実現した。
- ①令和6年度から「神奈川県との協働事業」として活動予定。
 - ②国の障害者基本計画（第5次）に「訪問支援を含む多様な学習活動」が明記された。



学習の様子



朗読ボランティア



フォーラム

その他研究の詳細など

訪問カレッジ「学びの実り アート&ミュージックミュージアム～医療的ケアの必要な重度障がい者の学びの成果を発表する文化祭～」
期日：令和5年11月3日（金）～4日（土）
会場：かながわ労働プラザ
※ハイブリッド開催

